



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所 東
 コード番号 7062 URL https://fureasu.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)関根 竜哉
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理部長 (氏名)関根 真一郎 (TEL)03(6632)9210
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,371	6.0	△17	—	23	△90.1	△8	—
2022年3月期第3四半期	3,182	17.7	199	—	236	446.7	166	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △8百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 166百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△3.63	—
2022年3月期第3四半期	71.36	70.27

(注) 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,979	1,701	42.3
2022年3月期	3,390	1,718	50.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,683百万円 2022年3月期 1,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.57	10.57
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.57	10.57

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,684	12.2	52	△71.6	86	△61.1	29	△80.0	12.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	2,352,600株	2022年3月期	2,336,600株
2023年3月期3Q	65株	2022年3月期	65株
2023年3月期3Q	2,347,851株	2022年3月期3Q	2,335,444株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動への影響が見られたものの、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響、ウクライナ情勢、資源価格の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び訪問看護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、特別養護老人ホーム等の介護施設の待機者数は、年々増加傾向にあり、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループが訪問してサービス提供する対象の一部には介護施設が含まれておりますが、多くの介護施設では新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止するなどといった措置がとられております。また、新型コロナウイルス第8波では、当社グループの施術師の感染による訪問サービスの中止も第7波に引き続き発生いたしました。

一方で、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する2025年頃には、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるといういわゆる「2025年問題」の到来が見込まれる環境下において、介護施設等の法人営業を強化することによるサービス利用者のさらなる増大を通じて、「2025年問題」の解決企業として当社グループが事業を遂行していくことを実現すべく、フランチャイズ事業及び施設系介護サービス事業である看護小規模多機能型居宅介護事業の推進を加速したことで、マーケットシェア及びサービス提供エリアがより一層拡充いたしました。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,371,756千円（前年同四半期比6.0%増）、営業損失は17,727千円（前年同四半期営業利益199,873千円）、経常利益は23,536千円（前年同四半期比90.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,524千円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純利益166,647千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、第2四半期連結累計期間より、「その他の事業」に含めていた看護小規模多機能型居宅介護事業を「施設系介護サービス事業」として独立のセグメントに変更いたしました。

① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、新型コロナウイルス感染の第8波の影響に伴い、一部の介護施設において外部者の施設への立ち入りが制限され、また、当社グループの施術師の感染によるサービス提供中止が発生しましたが、従前よりも高頻度なサービス提供を提案することで、引き続き当社グループのサービスの認知度向上を図ってまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、売上高は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、微減となりました。また、今後の成長に向けた新卒社員の入社に伴う人件費及び研修費用が発生するなどした結果、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は2,431,588千円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は559,940千円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業は、「フレアス在宅マッサージ」フランチャイズの新規加盟数が9件あり、当第3四半期連結累計期間末における加盟店数は282拠点（前年同四半期末比9.3%増）となりました。当第3四半期連結累計期間においては、売上高は介護施設を運営する法人との取引件数増加等により増加した結果、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は503,348千円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益は141,139千円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

③施設系介護サービス事業

施設系介護サービス事業は、新規事業である看護小規模多機能型居宅介護事業のための体制整備などに注力し、費用が先行して発生いたしました。当第3四半期連結累計期間において、フレアス看護小規模多機能水戸、フレアス看護小規模多機能越谷及びスカイハート看護小規模多機能鶴の森の開設により、4拠点となりました。

以上の結果、売上高は100,878千円（前年同四半期は一千円）、セグメント損失は120,393千円（前年同四半期比556.5%増）となりました。

④その他の事業

その他の事業セグメントに含まれる主な事業である訪問看護事業は、新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響はなく、地域のケアマネジャーに対する営業の強化及びマッサージ直営事業拠点との共同営業を推進することで、当社グループのサービスの認知活動を推進してまいりました。

以上の結果、売上高は335,940千円（前年同四半期比24.4%増）、セグメント損失は4,618千円（前年同四半期比72.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,800,916千円（前期比7.7%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,070,790千円（前期比11.8%減）、売掛金が1,131,025千円（前期比18.6%増）及び立替金が501,146千円（前期比32.2%増）であります。

また、固定資産は、1,178,434千円（前期比49.2%増）となりました。主な内訳は、有形固定資産が518,669千円（前期比274.2%増）、のれんが217,367千円（前期比7.4%減）、契約関連無形資産が240,384千円（前期比6.7%減）及び投資その他の資産が132,064千円（前期比21.1%増）であります。

この結果、総資産は3,979,351千円（前期比17.4%増）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は793,315千円（前期比4.5%減）となりました。主な内訳は、1年内償還予定の社債が10,000千円（前期比90.0%減）及び未払法人税等が492千円（前期比99.6%減）となる一方で未払金が160,571千円（前期比27.8%増）及び1年内返済予定の長期借入金364,752千円（前期比24.6%増）によるものであります。

また、固定負債は1,484,434千円（前期比76.6%増）となりました。主な内訳は、長期借入金が875,618千円（前期比45.3%増）及びその他固定負債が495,720千円（前期比305.6%増）であります。

この結果、負債合計は2,277,750千円（前期比36.3%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,701,601千円（前期比1.0%減）となりました。主な内訳は、資本金が295,722千円（前期比1.3%増）、資本剰余金が285,722千円（前期比1.3%増）及び利益剰余金が1,102,489千円（前期比2.9%減）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年11月8日に公表した見通しの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,214,521	1,070,790
売掛金	953,786	1,131,025
貯蔵品	8,477	12,956
立替金	379,053	501,146
その他	46,367	87,974
貸倒引当金	△1,568	△2,977
流動資産合計	2,600,637	2,800,916
固定資産		
有形固定資産	138,612	518,669
無形固定資産		
のれん	234,820	217,367
契約関連無形資産	257,692	240,384
その他	49,544	69,949
無形固定資産合計	542,056	527,701
投資その他の資産	109,053	132,064
固定資産合計	789,722	1,178,434
資産合計	3,390,360	3,979,351
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	100,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	292,854	364,752
未払金	125,598	160,571
未払法人税等	111,509	492
賞与引当金	57,943	32,574
その他	142,997	224,925
流動負債合計	830,902	793,315
固定負債		
長期借入金	602,497	875,618
退職給付に係る負債	26,425	29,706
繰延税金負債	89,393	83,389
その他	122,206	495,720
固定負債合計	840,522	1,484,434
負債合計	1,671,424	2,277,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,924	295,722
資本剰余金	281,924	285,722
利益剰余金	1,135,711	1,102,489
自己株式	△70	△70
株主資本合計	1,709,490	1,683,864
新株予約権	9,444	17,736
純資産合計	1,718,935	1,701,601
負債純資産合計	3,390,360	3,979,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,182,187	3,371,756
売上原価	1,573,017	1,728,502
売上総利益	1,609,169	1,643,253
販売費及び一般管理費	1,409,295	1,660,981
営業利益又は営業損失(△)	199,873	△17,727
営業外収益		
助成金収入	39,533	31,917
違約金収入	2,369	13,366
その他	2,722	5,191
営業外収益合計	44,626	50,475
営業外費用		
支払利息	5,052	8,009
その他	2,759	1,201
営業外費用合計	7,812	9,210
経常利益	236,687	23,536
特別利益		
事業譲渡益	35,241	—
特別利益合計	35,241	—
税金等調整前四半期純利益	271,928	23,536
法人税、住民税及び事業税	100,750	22,862
法人税等調整額	4,530	9,198
法人税等合計	105,281	32,061
四半期純利益又は四半期純損失(△)	166,647	△8,524
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	166,647	△8,524

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	166,647	△8,524
四半期包括利益	166,647	△8,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,647	△8,524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	24,697	10.57	2022年3月31日	2022年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。当社グループでは、同感染症については、今後について社会活動や経済活動は緩やかに回復していくものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積り及び判定を行っております。

なお、同感染症の収束時期やその経済環境への影響等が上記仮定と乖離する場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	施設系介護 サービス	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,463,574	448,463	—	2,912,038	270,149	—	3,182,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,463,574	448,463	—	2,912,038	270,149	—	3,182,187
セグメント利益又は損失 (△)	639,362	137,692	△18,337	758,717	△16,979	△541,864	199,873

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	施設系介護 サービス	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,431,588	503,348	100,878	3,035,816	335,940	—	3,371,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,431,588	503,348	100,878	3,035,816	335,940	—	3,371,756
セグメント利益又は損失 (△)	559,940	141,139	△120,393	580,686	△4,618	△593,796	△17,727

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めていた「施設系介護サービス事業」について量的な重要性が増したため、新たに報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。

なお、これらのセグメント変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの区分により、組み替えて表示しております。

(重要な後発事象)

(事業の譲受)

当社は、2023年1月16日開催の取締役会におきまして、2023年3月1日をもって、株式会社アンビスとの間で、事業の一部を譲り受けることについて決議し、同日付で同社と事業譲受に関する契約を締結いたしました。

1. 事業譲受の概要

①事業譲受の内容

株式会社アンビスの既存1施設の運営を譲受けいたします。

②事業譲受の目的

当社は、「在宅マッサージサービス企業ではなく、在宅領域を総合的に支援する企業」を目指しており、あらゆる症状に対しサービス提供できるよう、新規事業として終末期を最期までその人らしく過ごせるよう痛みや心のケアを目的とした緩和ケアを行うホスピス事業に参入することといたしました。本件事業譲受けを通じて、株式会社アンビスのホスピス事業における経験と知見を譲受することで、今後当社が展開する新規事業の早期収益化に寄与できると判断したため、当該事業を譲受けることといたしました。

③譲受事業の経営成績

開示基準に該当しないため、当事者間での合意により経営成績については非開示とさせていただきます。

④譲受事業に係る資産、負債の項目及び金額

当事者間での合意により経営成績については非開示とさせていただきます。

⑤譲受価額及び決済方法

当事者間での合意により非開示とさせていただきます。また、決済方法は、事業譲受時に現金にて支払われます。なお、本件の取得資金につきましては、自己資金及び金融機関からの借入を予定しております。

2. 相手先の概要

名称	株式会社アンビス	
所在地	東京都中央区八重洲2丁目7-2 八重洲三井ビルディング4階	
代表者の役職・指名	代表取締役 柴原 慶一	
事業内容	有料老人ホーム事業、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、障害福祉サービス（居宅介護等）、コンサルティング事業、その他付随事業	
資本金	10,000千円（2022年9月30日現在）	
設立年月日	2013年9月11日	
大株主及び持株比率	株式会社アンビスホールディングス（100.0%）	
上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 当事者間での合意により財政状態については非開示とさせていただきます。